



「あいさつ」

皆さんあけましておめでとーございま
す！昨年も大変実り多い良い年でしたが、
今年もより一層成長につながる一年にして
いきたいと思ひます。皆さんも頑張ってい
きましょう。

この度アニマル新聞と名付けまして、動物
飼育技術学院での出来事や、日頃の授業の
様子や、研修の様子などを皆様にお伝えし
たいと思ひ、月1回のペースで発行して行
きます。ご協力をお願いすることもあるか
と思ひますが、子供達の成長や、目標、夢、
希望など手助けになれば良いなと思ひ日々
取り組んでおります。至らない事もあるか
と思ひますが、是非暖かい心でアドバイス、
ご意見頂ければ真摯に向き合う所存です
ので、どうぞ宜しくお願い致します。

記念すべき第1回目という事で今回は、
昨年行った日本平動物園研修、また各校の
紹介をさせて頂きます。

動物飼育技術学院も校舎が沼津校、板
橋校、川崎校、川崎西校と4校舎になり
ました。沢山の動物達が仲間入りして、
中々賑やかな学校となつて参りました。動
物紹介の方も後々して行きますので、楽し
みにしてください。では、アニマル新聞
はじまりはじまりー

一歩前進

こちらのコーナーでは、毎月一人の生徒
にインタビューをして、頑張ったことや、で
きるようになったこと、などを紹介して
いきます。

今月は、板橋校の村田大地君をご紹介
したいと思います。

大地君は、高校3年生の春から動物飼育
技術学院で飼育の勉強をしている一年生で
す。好きな動物はハムスターです。苦手な
事は多数の人と関わる事でした。大地君
と1年弱ではありますが、一緒に飼育をし
てきた、工藤さんは、移動動物園に誘つた
り、学園祭に誘つたりと、色々な人が大勢
いるところに誘つて、多人数の中で過ごす
時間を作ってきました。今年の移動動物園
研修の中で一番沢山の人が来てくださった
東品川海上公園での移動動物園でウサギ・
モルモットふれあいコーナーを担当してくれ
ました。「やさしくさわってください」「時間
ですので次のお友達と交代しましょう」「な
ど呼びかけもできて、子供達にモルモットや
ウサギさんの抱っこをさせてあげたり、子
供達を楽しませる為に一生懸命声をかけ
ておりました。

最初は、お父さん・お母さんと講師でグ
ループラインを組み、色々な相談をしながら、

ら、チャレンジしてきました。

今年で高校生活は終了となりますが、大
学のオープンキャンパスにも参加し、次は
勉強を頑張ると張り切っております。置く
こともたくさんありますが、自分の好きな
ことや、得意なことを少しでも良いので将
来の夢や、お仕事につなげてみるのによい
ことだと思ひます。人と関わるることによつて、
生徒たちは、とても良い成長をして、自信
や、夢を持てるようになります。そこから
は、一歩前進あるのみですね。

大地君と最初板橋校に通い始めたとき
のことを思い出してみました。「あゝ変わ
りましたね。」「その一言まつてました!! 実感
できたことが、大きな一歩ですね。



日本平動物園研修

9月29日日本平動物園に研修に行きました。事前に動物園の飼育員さんに質問する内容を考えたり、日本平動物園の歴史を調べたり、展示されている動物達について調べました。沢山の質問があり、全部に答えて頂き、とても勉強になりました。



また、ゾウのダンボちゃんの観察を行いました。とてもサービス精神があり、動物園のスターさんからのパフォーマンスを見せてくれました。

日本平動物園には、もう一頭シャンティという女の子のゾウがいました。残念ながら2022年5月5日に亡くなってしまいました。シャンティとダンボは、日本平動物園で51年10月25日共に過ごし、ゾウ2頭が同じ動物園で継続飼育された期間として日本一となるそうです。ダンボも相棒が亡くな

ってしまって寂しいとは思いますが、まだまだ頑張つて長生きしてほしいものです。



自由行動では、それぞれ興味のある動物達を見たり、飼育員の方に質問したりして、充実した学習となりました。動物園のお仕事・飼育員さんとしてのお仕事について楽しさや、厳しさ、責任についてとても勉強になった一日だったのではないのでしょうか？さて、今後の学校生活に活かしてみよう！



日本平動物園 飼育員研修

三年 田島 雅奈

私は12月6日から12月9日のうち4日間日本平動物園で研修させていただきました。研修1日目は朝8時30分から猛獣館でライオン、トラ、ピューマ、ジャガー、アザラシ、ミイヤキヤットの飼育のやり方を教わりました。飼育では、主に動物たちの寝室清掃と給餌、トレーニング、収容作業の飼育実習を行いました。午前中は餌作り、清掃作業で、午後は収容作業とトレーニングをしました。動物の性格や仕草や行動などをよく観察し毎日の変化を日誌などに書いていたり、収容作業でもしっかりと鍵が閉まっているのか確認作業が重要でとても忙しく大変な作業が多かったです。猛獣動物なので気を絶対に抜いてはならないのでとても緊張しました。猛獣館での飼育作業で一番印象に残っているのはアザラシとジャガールの爪切りトレーニングです。芸などを覚えさせて爪が見えるようにトレーニングし、成功したら褒美の餌をあげるという作業でした。普段は絶対経験しない貴重な体験をやらせて頂いたのもとても楽しかったです。今まで経験のない作業をしたので時間がかかったり不安も沢山ありましたが、教えてくださる担当者さんがとても分かりやすく丁寧に教えて下さり安心して作業を進めることが出来ました。2日目は作業内容や担当動物が変わり、オランウータンとワラビーの清掃作業、給餌、次の日の餌準備、収容作業を行いました。朝8時30分からワラビー達を展示エリアに出してから清掃を行いました。食いしん坊なワラビー

ーがおり、ご飯を食べていて中々出てくれないという問題もありましたがとても人懐っこい子で可愛かったです。次に、オランウータンの寝室清掃を行いました。オランウータンはとても賢く自分のお気に入りの物や布などは展示エリアまで自分で持っていく遊ぶという行動が見られて嬉しかったです。他にも、次の日個々の動物担当者さんの為に餌を分けて直ぐ持つて行けるよう準備する作業もしました。今回の研修を通し、学校などでは経験できない貴重な体験が多く改めて動物の魅力を感じました。毎日の動物とのコミュニケーションが大切に日を重ねて動物と接する事が重要だと学びました。4日間という短い間でしたが勉強になり良い経験になりました。



三年 杉田 真斗

僕は12月6日から9日間の4日間日本平動物園で研修をさせていただきました。

4日間で担当させていただいた動物は、象、メガドーム、ペンギン、中型猿です。最初は緊張しましたが、飼育員の方が丁寧に色々教えてくださったり大好きな動物の世間話などしたりと、楽しく学べました。主に僕が手伝わせていただいた作業は、掃除やエサ作りなどです。

研修から学んだこと1日目は、象のフンは

思っていたより重くなかったです。動物園内に野生の動物がでますか。の質問には夏にはヘビがよく出るとのことでした。

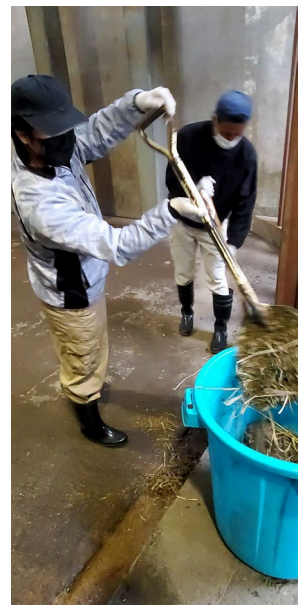
2日目は、象のフンは足を使ってチリトリに入れるとたくさん入るです。ペンギンは名前を覚えられますか。の質問では、覚えられないそうです。1匹で飼えば覚えるかもしれないそうです。

3日目は日本平動物園の爬虫類はほとんど生きエサだということです。4日目は時間に余裕をしっかりとって行動するということです。そして動物を恐怖で支配することはよくないということ。魚の針はペリカンやペンギンの口やのどにささらないのですか。という質問では、子どもの頃はささったりもするが、大人になつたらささらないそうです。

4日間の研修で反省することもたくさんありました。エサをこぼしてしまったり、野菜をやさしく切れなかったり、象のエサを覚え忘れてしまったり、魚の骨や包丁でケガしそうになつてしまったり、視野をもっと広くしようと思つたり、どんな時もちゃんと集中しなくてはいけないとたくさん反省した4日間でした。反省した分たくさん学べたと思つています。反省し行動にきちんとついでいくことが大切だと思ひました。

4日間の研修で学校とは違った飼育だったり、経験できないことをやらせていただきとても充実した4日間でした。一つ一つの作業には意味があり、丁寧にきちんと集中し視野を広く持つことが大事だと思ひました。動物それぞれ飼育をきちんと覚えることなど大切なことはたくさんあり学べたことはとてもいい経験であり、勉強になりました。本当に4日間丁寧に教えて下さりありがとうございました。

校舎紹介



沼津校

皆さんこんにちは沼津校講師の梅田です。まず、簡単に自己紹介をさせていただきます。私の特に好きな動物は爬虫類です。特にヘビが大好きでして、暖かい季節の移動動物園では、ヘビの首巻体験が人気でヘビの魅力が伝わるチャンスと張り切っております。各学校で飼育している爬虫類も私が仕入れから考えており、環境や、生徒達が扱いやすく、また親しみやすい子を選んでおります。

さて、次回からは、一番動物の個体数も多い沼津校の動物紹介とともに、移動動物園の様子や、学校での授業の様子をお届けしたいと思います。



板橋校

皆さんこんにちは。板橋校の講師をしております、小橋です。好きな動物はクマとイヌとハムスターです。家では少し珍しい、スキニーハムスターという毛のないハムスターを飼育しています。最近では、板橋校でハムスターの繁殖活動のためのペアリングを頑張っております。春に向けてかわいいうち赤ちゃんの誕生を生徒と心待ちにしております。生まれた暁には、ぜひ皆さんも可愛がってあげてください。

さて、板橋校は5年前に開校した校舎で開校からスクスクと大きくなった動物達が日々のおんびりと過ごしております。今回はその中でも開校当初からいたレッドイグアナの「綾鷹」を紹介していきたいと思えます。初めて板橋校に来た時は、テールアタックを連発し、尻尾の先から血が出てしまうほど怒っていることが日常でした。しかし、今では外に出してほしいアピールをし、いざ外に出ると自由気ままに過ごしています。季節によって様々な過ごし方をしており、夏になると生徒と一緒に外で日光浴や水浴びをし、

冬になると温水プールに入り、室内で部屋んぽを楽しんでいます。部屋んぽをしながら生徒と触れ合うことで徐々に慣れし、今では移動動物園で子供から大人まで「恐竜みたいでかっこいい！」と大絶賛され、大活躍な綾鷹ちゃんです。

最近出席率が悪い



のが一番悩みの板橋校ですが、新しい動物達も増えており、ぜひ一度皆さんに触れあっていたきたいと思っています。その中でもナデナデが大好き、タイハクオウムのモコちゃんは皆さんに会えるのを楽しみに毎日ゆらゆらと揺れています。ぜひ会いに来てみてください。

川崎校

こんにちは、川崎校です。

川崎校はロフト付きの校舎で、ヤギ、ムササビ、アルマジロなど約40種類の動物がいます。

今日はそんな川崎校のアイドル、マイクロブタのオズくんを紹介します。

雑食性で何でも食べると言われているブタですが、オズくんは好きな物以外食べない美食家です。特に葉物野菜が苦手なので、少しずつ食べられるように特訓中です。最近はずーレタスを単体で食べられるようになりました。

また、オズくんは芸もできて、今は「ハウス」を練習中です。最初は寄り道ばかりしていたオズくんですが、生徒たちが根気強く教えてくれたおかげで少しずつですが、まっすぐ帰る回数が増えてきました。

生徒たちのおかげで、動物たちも日々成長しています。年末、川崎校では大掃除を行いました。生徒たちが自ら掃除したい場所を教



えてくれたり、どこの掃除でもみんな率先して動いてくれたので、どんどん学校がきれいになり、動物たちも嬉しそうです。

川崎西校

皆さんこんにちは。川崎西校です。今年開校したばかりの新しい校舎です。1年生が3人と3年生1人のまだまだ動物の数の方が多い校舎です。さて、西校では生徒の推しは、爬虫類、先生の推しはなんとといってもカピバラのチーザです。まず、生徒達の推しイグアナのオクラさんを紹介します。オクラさん以前は川崎校で飼育しておりました、グリーンイグアナです。元々全く慣れなく、気性が荒いという事で、学校にやってきました。日々のふれあいを通じて、オクラさん今ではゆったり抱っこされながら居眠りするぐらい慣れっこです。生徒からキャットゲージで飼育したいと要望があり、購入したところ、イグアナさんがくつろぐのは、難しそうでしたが、みんなで協力して、すてきなお部屋に完成しておりました。生き物の習性を考えて、合ったお部屋を作ってあげたり、自分たちで考える事はとても大切な事だと思えます。生き物は話せませんが、オクラを見ているととても居心地が良いみたいでいつもくつろいでおります。



